

# 『医王病院におけるビタミン D3 製剤使用患者の高カルシウム血症予防プロトコルの活用状況に関する研究』 お知らせ

## 1. 実施目的について

骨粗鬆症の治療薬として使用されているビタミン D3 製剤（薬品名：エルデカルシトール、アルファカルシドールなど）の副作用に、高カルシウム血症（血液中のカルシウムの値が高くなる状態）があります。高カルシウム血症では、だるさ、疲労感、食欲不振、吐き気、便秘などが出現しやすくなります。この副作用を予防するためには、定期的に採血を実施して、カルシウム値を確認することが重要です。

そこで、医王病院では、患者さんに安全にビタミン D3 製剤を使用していただくことを目的に、薬剤師が、患者さんのカルテを見て、カルシウム採血の実施状況を確認する規約（プロトコル）を医師と薬剤師が協同で作成しました。この規約（プロトコル）が有効に運用できているのかを確認するために、この研究を計画しました。

## 2. 実施内容について

方法は、2023年8月から2024年7月末までに、当院でビタミン D3 製剤が処方された患者さまを対象とします。その患者さまのカルテを調べ、カルシウム値の採血検査の実施状況、カルシウムの値、薬剤師による検査追加指示件数、薬剤師から医師への検査依頼件数を調べます。

カルテを実際に調べる作業を行う期間は、これより2026年3月末までです。

## 3. 研究代表者

矢野 涼子(医王病院 薬剤科 副薬剤科長)

## 4. 調査対象期間

2023年8月1日から2024年7月31日までを調査対象期間とします。

## 5. 個人情報およびプライバシーの保護について

それぞれの患者さまの個人情報は、個人が特定できないデータに変換された上で、データファイルが作成、保存、分析されます。この研究により、個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。

この研究の成果は、個人が特定できないデータとして、学術的な場でのみ公表します。

## 6. 本研究に関するお問い合わせ

上記のように、個人情報やプライバシーを保護した状態であっても、調査対象となることを拒否される場合、また、この研究についてご質問がある場合には、下記までお問い合わせください。

医王病院 薬剤科 矢野 涼子

国立病院機構 医王病院病院長石田 千穂